

# 脳神経外科学

教 授	高 久	晃
助 教	遠 藤	俊 郎
講 師	岡 伸	夫
講 師	西 嶋	美和春
助 手	甲 州	啓 二
助 手	神 山	和 世
助 手	平 島	豊 成
助 手	岩 井	良 成
助 手	中 田	潤 一
技 官	中 山	八州男

## ◆ 原 著

- 1) 甲州啓二, 高橋慎一郎: 著明な板間静脈の発達を認めた前頭部外側の Sinus Pericranii の 2 例, 臨床放射線 26: 391-394, 1981.
- 2) 甲州啓二, 岡田 仁, 溝井和夫, 小沼武英: 外傷性両側中硬膜動静脈瘻の 1 例, 脳神経外科 9: 205-209, 1981.
- 3) 堀江幸男, 甲州啓二, 平島 豊, 遠藤俊郎, 高久 晃: 早期手術にて救命しえた生後 1 日目の急性硬膜下血腫の 1 例, 脳神経外科 9: 941-944, 1981.
- 4) 大槻泰介, 吉本高志, 平島 豊: 脳動静脈奇形手術後に生じた Trapped fourth ventricle の 1 例, 脳神経外科 9: 949-950, 1981.
- 5) 平島 豊, 佐藤 壮, 小田辺一紀, 北原正和: 髄膜腫様組織像を呈した扁平上皮癌の頭蓋骨転移の 1 例, 山形済生館医誌 6: 30-35, 1981.
- 6) 佐藤 壮, 北原正和, 佐藤博雄, 金城利彦, 平島 豊, 小田辺一紀, 遠藤 実: びまん性転移性軟脳膜癌腫症, 山形済生館医誌 6: 20-29, 1981.
- 7) 平島豊, 遠藤俊郎, 堀江幸男, 甲州啓二, 高久 晃: 慢性硬膜下血腫を合併した前交通動脈瘤の 1 例, 脳神経外科 9: 1041-1045, 1981.
- 8) 高久 晃, 鈴木二郎, 小沼武英: 脳動静脈奇形の外科治療, 今日の臨床外科 23: 153-167, 1981.
- 9) 神山和世, 岡田 仁, 鈴木二郎: 脳血管攣縮と Superoxide-Oxyhemoglobin 誘発脳血管攣縮モデルネコを用いて, Neurol Med Chir. 21: 201-209, 1981.
- 10) Kosu K. and Takahashi S.: Laterally Situated Sinus Pericranii, Report of Two Cases with Marked Diploic Veins, Neuroradiology 21: 219-221, 1981.
- 11) Kosu K., Horie Y., Hirashima Y., Endo S. and Takaku A.: CT Findings in a Case of Neonatal Acute Subdural Hematoma, Neuroradiology 21: 223-225, 1981.
- 12) Mizoi K., Takaku A. and Suzuki J.: Subdural Effusion Following Radical Surgery for Chiasmal Region Tumors in Children Report of 4 Cases, Child's Brain 8: 307-315, 1981.
- 13) 大石 光, 甲州啓二, 吉本高志, 鈴木二郎: 脳梗塞の CT contrast enhancement 陽性所見とその組織像—実験的研究—, 脳卒中 3: 23-26, 1981.
- 14) 関 博文, 甲州啓二, 大石 光, 吉本高志, 鈴木二郎: 出血性梗塞における局所脳循環動態および C T 像—実験的研究—, Neurol. Med Chir. 21: 511-515, 1981.
- 15) 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 斎藤建夫: 電気分解法により発生させた水素ガスを利用した局所脳血流量測定を試み, 脳神経外科 9: 1261-1266, 1981.
- 16) 溝井和夫, 西嶋美知春, 小沼武英: 天幕切痕ヘルニアにより両側外側膝状体および鳥距領の梗塞をきたした外傷性盲の 1 例—その C T 所見を中心に—, Neurol Med Chir 21: 969-972, 1981.
- 17) Mizukami M., Nishijima M. and Kin H.: Computed Tomographic Findings of Good Prognosis for Hemiplegia in Hypertensive Putaminal Hemorrhage, Stroke 12: 648-652, 1981.
- 18) 香川茂樹, 甲州啓二, 吉本高志, 鈴木二郎: 出血性脳梗塞の抑制 Mannitol と人工血液 Perflurochemicals の効果, 脳神経外科 9: 1417-1422, 1981.
- 19) 平島 豊, 中田潤一, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 本田 昂, 野田清美, 高崎親久: 虚血脳における Phospholipase A<sub>1</sub>, A<sub>2</sub>, lysophospholipase および acylCoA: lysophospholipid acyltransferase の酵素活性, 神経化学 20: 132-135, 1981.
- 20) 西嶋美知春, 田中 悟, 渡辺孝男, 吉本高志, 鈴木二郎: 完全虚血下における脳神経細胞の経時的变化および各種薬剤によるその進行の抑制効果, 脳と神経 3: 191-199, 1981.
- 21) Kosu K., Seki H., Yoshimoto T. and Suzuki J.: Experimental Hemorrhagic Thalamic Infarction in the Dog, Surgical Neurology 16: 274-279, 1981.
- 22) 平島 豊, 進藤健次郎, 遠藤俊郎: 加齢および脳萎縮の指標としての CT scan による側脳室前

角面積測定—種々脳室指標との比較—, C T 研究 3: 565—570, 1981.

23) 高久 晃, 遠藤俊郎, 岡 伸夫: 小児脳腫瘍, 治療法の選択とその遠隔, 脳神経外科 9: 1453—1468, 1981.

24) 高橋 薫, 桜川信男, 堀江幸男, 遠藤俊郎, 富川正樹, 小出武比古: Antithrombin III 異常症の一家系, Acta Haematol Jpn 44: 1195—1203, 1981.

25) 大山秀樹, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 樋口 紘: 開頭術後に発生した深側頭動静脈瘻の1手術治療例, 脳神経外科 9: 753—758, 1981.

#### ◆ 学会報告

1) 堀江幸男, 遠藤俊郎, 甲州啓二, 高久 晃, 高橋 薫, 桜川信男, 富川正樹: 中大脳動脈閉塞をきたした先天性 Antithrombin III (ATIII) 異常症の1例, 第6回日本脳卒中学会総会, 1981. 2, 群馬.

2) 大石 光, 西嶋美知春, 香川茂樹, 渡辺孝男, 吉本高志, 鈴木二郎: マンニトールによる脳梗塞抑制能—C T および組織像による実験的研究, 第6回日本脳卒中学会総会1981. 2, 群馬.

3) 岡 伸夫, 吉本高志, 鈴木二郎: BSR の脳血管障害患者への応用に関する研究, 厚生省循環器病託研究, 1981. 2, 前橋.

4) 遠藤俊郎, 高久 晃: 電気分解法により発生させた水素ガスを利用しての局所脳血流量測定の試みと水頭症の脳血流, 文部省科研総合研究, 1981. 3, 東京.

5) 平島 豊, 遠藤俊郎, 堀江幸男, 甲州啓二, 高久 晃: 慢性硬膜下血腫を合併した前交通動脈瘤の1例, 第2回脳神経外科中部地方会, 1981. 3, 金沢.

6) 堀江幸男, 神山和世, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 中村泰久: 前頭神経より発生した眼窩腫瘍の1例, 第2回脳神経外科中部地方会, 1981. 3, 金沢.

7) 西嶋美知春, 渡辺孝男, 大石 光, 吉本高志, 鈴木二郎: 完全虚血下における脳神経細胞の経時的变化および各種薬剤によるその進行の抑制効果, 第22回日本神経学会総会, 1981. 5, 熊本.

8) 堀江幸男, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃: 生後1日目の早期手術にて救命しえた急性硬膜下血腫, 第9回日本小児神経外科学研究会, 1981. 5, 千葉.

9) 堀江幸男, 神山和世, 岡 伸夫, 高久 晃, 中村泰久: 動眼神経より発生した神経鞘腫—興味あ

る von Recklinghauser 氏病の1例—, 第5回4連合会, 1981. 6, 札幌.

10) 遠藤俊郎, 平島 豊, 神山和世, 高久 晃, 塚本栄治, 西嶋美知春: 頸部頸動脈血栓内膜切除術の経験—特に手術法について—, 第5回4連合会, 1981. 6, 札幌.

11) 岡 伸夫, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 塚本栄治, 西嶋美知春: 脳血行再建術後出血性梗塞例についての検討, 第5回4連合会, 1981. 6, 札幌.

12) 岡 伸夫, 堀江幸男, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 佐藤寛明, 嶋尾 智, 鈴木好文, 岡田敏夫: 新生児急性硬膜下血腫の2手術治療例, 第23回日本小児神経学会総会, 1981. 6, 仙台.

13) 岩井良成, 堀江幸男, 岡 伸夫, 西嶋美知春, 塚本栄治: 眼窩静脈撮影後自然治癒を示した外傷性 C C F の1例, 第3回脳神経外科中部地方会, 1981. 6, 名古屋.

14) 中田潤一, 平島 豊, 遠藤俊郎, 高久 晃, 塚本栄治: Lipomeningocele 3 治癒例の検討, 第3回脳神経外科中部地方会, 1981. 6, 名古屋.

15) 高橋 薫, 桜川信男, 堀江幸男, 遠藤俊郎, 小出武比古: Antithrombin III 異常症における antithrombin 活性と heparin cofactor 活性の解離について, 第43回日本血液学会総会, 1981. 4, 名古屋.

16) Kagawa S., Koshu K., Seki H. and Yoshimoto T.: Experimental study of hemorrhagic infarction using thalamic infarction in the dog. Production and protective effect of mannitol and FC emulsion, 7th International Congress of Neurological Surgery, 1981. 7, München, West Germany.

17) Okada H., Ishibashi Y., Kamiyama K. and Konda R.: A study of cerebral vasospasm experimentally induced in the cat with oxyhemoglobin, 7th International Congress of Neurological Surgery, 1981. 7, München, West Germany.

18) Nishijima M., Tanaka S., Ogawa A. and Seki H.: Recirculation in the acute period of cerebral infarction. An experimental study of brain swelling and its suppression, 7th International Congress of Neurological Surgery, 1981. 7, München, West Germany.

19) 平島 豊, 岩井良成, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 三輪淳夫, 高橋 薫: D I C を合併した興味あるクモ膜下出血の1例, 第35回北陸医学総会,

1981. 9, 富山.

20) 堀江幸男, 中田潤一, 神山和世, 岡 伸夫, 高久 晃: ビタミンK欠乏症による乳児急性硬膜下血腫の1治験例, 第35回北陸医学総会, 1981. 9, 富山.

21) 五十嵐隆夫, 嶋尾 智, 高久 晃: 脊髄脂肪腫の2例, 第35回北陸医学会総会, 1981. 9, 富山.

22) 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 神山和世, 高久 晃, 塚本栄治: 頸部内頸動脈血栓内膜切除術—術中マンニトール投与とstump pressure—, 第40回日本脳神経外科学会総会, 1981. 10, 京都.

23) 甲州啓二, 神山和世, 遠藤俊郎, 高久 晃: 電気分解法により得られる  $H_2$  ガスを用いた局所脳血流量測定を試み, 第24回脳循環代謝研究会, 1981. 10, 東京.

24) 甲州啓二, 岩井良成, 遠藤俊郎, 高久 晃, 斎藤健夫: 電気分解法による局所血流量測定を試み, 第22回日本脈管学会, 1981. 10, 東京.

25) 西嵩美知春, 神山和世, 堀江幸男, 遠藤俊郎, 高久 晃: 術後に血腫増大を認めた慢性硬膜下血腫の2症例, 第4回日本脳神経外科学会中部地方会, 1981. 11, 名古屋.

26) 岩井良成, 甲州啓二, 平島 豊, 岡 信夫, 高久 晃: 外傷性後頭蓋窩硬膜下血腫の1治験例, 第4回日本脳神経外科学会中部地方会, 1981. 11, 名古屋.

27) 平島 豊, 中田潤一, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 本田 昂, 野田清美, 高橋親久: 虚血脳における phospholipase  $A_1$ ,  $A_2$ , lysophospholipase および acylCoA: lysophospholipid acyltransferase の酵素活性, 神経化学会, 1981. 11, 長崎.

## 整 形 外 科 学

教 授	辻	陽 雄
助 教 授	玉 置 哲 也	
講 師	伊 藤 達 雄	
講 師	館 崎 慎一郎	
助 手	山 田 均	
助 手	野 口 哲 夫	
助 手	本 江 卓	
助 手	加 藤 義 治	
助 手	大 内 純太郎	
文部技官	佐 野 明 美	

### ◆ 著 書

1) 辻 陽雄: 脊髄腫瘍, その病態生理ならびに症候論, 269—275, 新臨床整形外科全書, 2-B, 天児監修, 金原出版, 1981.

2) 辻 陽雄: 脊椎の機能, 22—38, 脊椎損傷ハンドブック, 蓮江, 片岡編, 南江堂, 1981.

3) 玉置哲也: 脊椎分離迂り症, 573—574, 今日の治療指針1981年版, 医学書院, 1981.

4) 伊藤達雄: 第5章, 骨格・筋肉系, 47—59, 医薬品情報担当者研修シリーズ, 解剖・生理学, 塚田監修, 薬業時報社, 1980.

### ◆ 原 著

1) 東山義龍, 伊藤達雄, 小林英夫, 井上駿一: 小児の脊髄損傷について, 災害医学 23: 537—541, 1980.

2) 本江 卓, 伊藤達雄, 野口哲夫, 玉置哲也, 辻 陽雄, 神代靖久: 不完全 Marfan 症候群の患者に合併せる paraplegia の1例, 臨床整形外科 16: 689—694, 1981.

3) 辻 陽雄: 腰部脊柱管狭窄症の病態に関する史的考察, 臨床整形外科 16: 442—452, 1981.

4) 辻 陽雄, 伊藤達雄, 玉置哲也, 野口哲夫, 高野治雄, 松井寿夫, 岡野良文: 腰部脊柱管狭窄—その臨床像と病態—, 臨床整形外科 16: 598—612, 1981.

5) 辻 陽雄, 山田 均, 館崎慎一郎, 本江 卓, 浦山茂樹, 清水美恵子, 磯辺啓二郎: 腰部脊柱管狭窄と馬尾神経根の異常弛緩について, 整形外科 32: 707—719, 1981.

6) Tamaki T., Tsuji H., Inoue S. and Kobayashi H.: The prevention of iatrogenic spinal cord injury utilizing the evoked spinal cord potential, Int. Orthop. (SICOT) 4: 313—317, 1981.

7) Tsuji H.: Reduction-spreader for lumbar vertebral slipping, Orthopaedics 4: 321—322, 1981.

8) 伊藤達雄: 第1, 2頸椎間 lateral puncture による myelography について—穿刺手技と造影手技—, 整形外科 32: 1105—1114, 1981.

9) 亀ヶ谷真琴, 土屋恵一, 上野正純, 辻 陽雄, 内海武彦: 胸椎部に発生せる epidermoid の1例, 整形外科 32: 1077—1081, 1981.

10) 玉置哲也, 野口哲夫, 中川武夫, 今井克己: 脊椎—脊髄モニタリング法について—, 手術 35: 1093—1101, 1981.

11) 玉置哲也, 小林英夫: 脊髄誘発電位の現況, 臨床検査 11: 1378—1385, 1981.

12) 吉岡 勉, 辻 陽雄, 西能 弘, 高野治雄, 浦山茂樹, 松井寿夫, 西能正一郎: いわゆる腰痛症の解析 (第2報)—Developmental Ballooning of